

## リンドウ褐斑病の発生生態と防除対策

リンドウ褐斑病は6月下旬～7月下旬にかけて一次感染し、およそ2～3週間の潜伏期間を経て7月下旬～8月上旬に発生する。以降、二次伝染する。一次感染期にあたる6月下旬～7月下旬の防除を徹底することで、8月以降の二次伝染を抑えることができる。



本病はいったん発生すると壊滅的な被害をもたらす。前年発生園では翌年も発生するため、本病を対象とした防除を実施する。

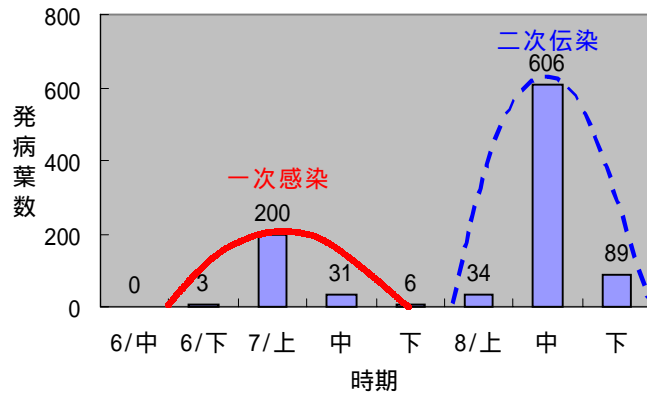


図 無防除区における感染時期・量(2002年)

梅雨期間中に一次感染する。8月以降、降雨が続くと二次伝染し多発する。2日以上降雨日が続くと感染が助長される。

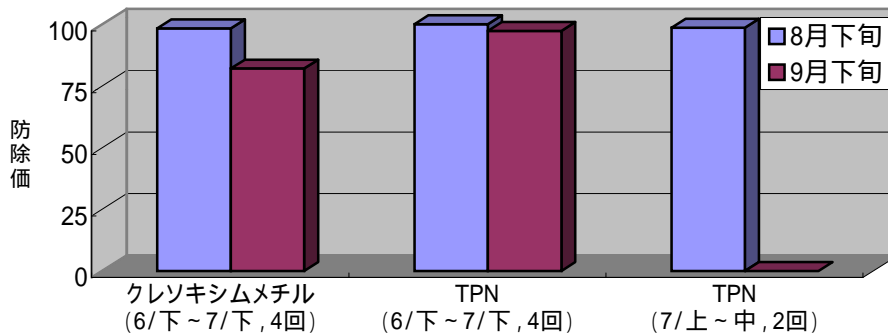


図 7月の防除圧と秋期発生との関係

試験地：花巻市農家園場 品種：ジョバンニ 試験年次：2002～2003年

本病に効果の高いクレソキシムメチル水和剤およびTPN水和剤を重点防除時期(6/下～7/下)に散布することにより、収穫後まで発病を抑えることができる(図左,中)。しかし、この時期の防除圧が低いと、8月以降の降雨で二次伝染し多発する(図右)。

### 褐斑病に効果の高い薬剤と汚れの程度

一般名	商品名	希釈倍数	使用回数	葉の汚れ
TPN 水和剤	ダコニール 1000	1000 倍	6 回以内	+
クレソキシムメチル水和剤	ストロビーフロアブル	2000 倍	3 回以内	±

ミックスパワーを加用すると汚れを軽減できる。